

福祉科 「生活支援技術」 (医療的ケアを含む)	単位数	3 単位
	学科・学年	介護福祉科 (1 年)

(1) 学習のねらい (目標) および使用教材

学習到達目標	人の尊厳の保持や自立支援を理解し、基礎的な介護の知識と技術を身に付けるとともに、デイサービスセンターやグループホームの利用者に適切かつ安全に支援できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	生活支援技術 (実教出版) 最新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」 (中央法規) 最新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」 (中央法規) 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト (日本能力協会マネジメントセンター)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 基礎的な介護の知識と技術に関心を持ち、意欲的に学習している。 思考・判断・表現 安全・安楽、自立支援のための基礎的・基本的な介護技術について考えている。 技能 基礎的な介護の知識と技術を実践することができる。 知識・理解 基礎的な介護の知識と技術を身に付けている。
評価方法	学習活動状況 (出席・意欲・態度等)、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	授業は教師や友達の発表をよく聞き、必要事項をノートに書き込むこと。実技では実習着をきちんと着用し、積極的に実習に取り組み、実習記録を提出すること。
---------------	---

(4) 学習計画

「1 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
私たちの暮らしと生活支援 ・生活支援の理解	- 生活がどのような側面から構成されているか理解する。 - 生活について、人間の発達段階と関連づけて理解する。 - 生活支援の対象者や生活支援の考え方、ICF について理解する。
・生活支援に向けたアセスメント	- 居住環境の整備の視点を理解する。 - 現在の居住環境は、高齢者の生活にどのような影響を与えているかを理解する。
自立に向けた生活支援技術 ・居住環境の整備	- 高齢者の自立を支援するための住まいについて理解する。 - 住宅および施設の環境整備の具体的な進め方について理解する。 - 居住環境の整備における技術を身に付ける。 (シーツの扱い方・ベッドメイキング・シーツ交換) (体位・安楽な姿勢・立ち上がり・ボディメカニクス)

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
自立に向けた生活支援技術 ・ 身じたくの介護 ・ 移動の介護 ・ 食事の介護	・ 身じたくにおけるの介護技術を習得する。 (衣服の着脱・整髪) ・ 人間の生活のなかで、“移動”がいかに大きな意味をもつかを理解する。 ・ 移動の介護における基本的姿勢について習得する。 ・ 安全で安楽な移動の介助の方法を習得する。 ・ 移動・移乗における基本的な知識と技術を身に付ける。 (歩行介助・車椅子の介助・体位変換) ・ 移動・移乗における基本的な知識と技術を身に付ける。 (車椅子への移乗・ベッド上での移動) ・ 食事の意義と目的を理解する。 ・ 食事における介護技術を身に付ける。 (食事の介助・口腔ケア) ・ 食事における他職種の役割と協働について理解する。

「3 学期」

自立に向けた生活支援技術 ・ 入浴・清潔保持の介護 ・ 排せつの介護 ・ 睡眠の介護	・ 入浴・清潔保持の意義と目的を学ぶ。 ・ 入浴・清潔保持における介護技術を身に付ける。 (清拭・部分浴の介助・一般浴の介助・特殊浴の介助) ・ 入浴・清潔保持の介護に関する他職種の役割を学ぶ。 ・ 排泄の意義と目的を理解し、介護技術を身につける。 (尿器、便器の介助・ポータブルトイレ・オムツ交換) ・ 睡眠の意義と目的を理解し、介護技術を身に付ける。 (安眠のための介助・不眠時の介助)

福祉科 「生活支援技術」 (医療的ケアを含む)	単 位 数	3 単位
	学科・学年	介護福祉科 (2 年)

(1) 学習のねらい (目標) および使用教材

学習到達目標	自立生活を支援するための介護の役割を理解し、介護実習により介護等に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得するとともに、様々な介護場面において支援できる能力と態度を育てる。また、介護現場で必要な医療的ケアについて、医療職との連携のもと、安全・適切に実施できるよう、必要な知識や技術を習得する。
使用教科書 副教材	生活支援技術 (実教出版) 最新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」 (中央法規) 最新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」 (中央法規) 最新・介護福祉士養成講座 15「医療的ケア」 (中央法規) 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト (日本能力協会マネジメントセンター)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 高齢者や障害者の自立支援について関心を持つとともに、実習等を通して、総合的な知識と技術を学習し、利用者のニーズについて主体的に学習しようとする態度が身に付いている。 思考・判断・表現 自立した生活についてよく考え、高齢者や障害者に応じた支援方法を適切に判断できる。また、習得した知識と技術を実践し、記録や報告等で実施手順や問題点、利用者の状況等を表現することができる。 技能 高齢者や障害者に対して、安全・安楽な介護技術を実施することができる。 知識・理解 日常生活の支援技術に関する基礎的な知識を身に付け、利用者に応じた支援方法について理解している。
評価方法	学習活動状況 (出席・意欲・態度等)、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	利用者の個別性を理解し、一人ひとりが異なった支援が必要であるため、基礎基本をしっかり理解し、技術を習得する。また、利用者の心理的な側面も模擬体験し理解する。 介護実習での実践の基礎となるので、積極的に取り組み、現場で通用する確実な技術と態度を身に付ける。
-------------------	---

(4) 学習計画

「1 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
医療的ケア実施の基礎	・医療的ケアを実施するための基礎知識を理解する。 ・医療的ケアに関連する法制度や倫理等を学ぶ。 ・感染予防、安全管理体制についての基礎知識・技術を習得する。
自立に向けた生活支援技術 ・家事の介護	・家事のもつ意義について理解し、家事の自立に必要な基本的知識について学ぶ。 ・家事の自立に不可欠な技術とその指導方法を学ぶ。 ・家庭生活の営みや果たすべき役割を学ぶ。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
喀痰吸引（基礎的知識 ・実施手順・演習）	・呼吸器系のしくみ、吸引を受ける人の気持ちの理解など、喀痰吸引の基本的知識を理解する。 ・安全、安楽な喀痰吸引の技術を習得する。
経管栄養（基礎的知識）	・消化器系のしくみ、経管栄養を受ける人の気持ちの理解など、経管栄養の基本的知識を理解する。
自立に向けた生活支援技術 ・レクリエーションにおける介護	・レクリエーションの意義を学ぶ。 ・介護におけるレクリエーションとは何かを学ぶ。
終末期・緊急時の介護 ・終末期の介護	・個人の尊厳を重視した終末期ケアの意識と介護に求められる役割について学ぶ。 ・終末期におけるチームケアと他職種との連携のあり方について学ぶ。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
終末期・緊急時の介護 ・緊急時の介護	・終末期における4つの苦痛に対する介護、危篤時の介護、死後の処置を学び、介護職として必要な基礎的な知識と技術を習得させる。
経管栄養（実施手順・演習）	・経管栄養に使用する物品や経管栄養の種類を具体的に学ぶ。 ・経管栄養を安全に実施するための手順を学ぶ。 ・経管栄養に使用する物品の清潔な取り扱いや消毒方法について学ぶ。
救急蘇生法	・救急蘇生法について、心肺蘇生法の技術を習得する。

福祉科 「生活支援技術」	単 位 数	4 単位
	学科・学年	教養福祉科（3 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、介護実習により介護等に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。また様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材	生活支援技術（実教出版） 新・介護福祉士養成講座 6「生活支援技術Ⅰ」（中央法規） 新・介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅰ」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 8「生活支援技術Ⅲ」（中央法規） 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト（日本能力協会マネジメントセンター）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 高齢者や障害者の自立支援について関心を持つとともに、介護実習等を通して、総合的な知識と技術を学習し、利用者のニーズについて主体的に学習しようとする態度が身に付いている。 思考・判断・表現 自立した生活についてよく考え、高齢者や障害者に応じた支援方法を適切に判断できる。 技能 高齢者や障害者に対する介護に関して、基礎基本を身につけている。また、習得した知識と技術を介護実習で実践できるとともに、日誌等の記録に問題点を表現することができる。 知識・理解 日常生活の支援技術に関する基礎的な知識を身に付け、利用者に応じた支援方法について理解している。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、レポートの提出・筆記試験・実技試験で総合的に評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	利用者の個別性を理解する。また、利用者の心理的な側面も体験的に理解する。 介護実習での実践の基礎となるため、積極的に取り組み、現場における確実な技術と態度を身につける。
-------------------	--

（４）学習計画

「1 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは	・ 傷害や疾病とともに生活する人の背景を理解する。 ・ 「生活支援」を行う意義（目的）を学ぶ。 ・ 他職種連携の意義（目的）を知る。

障害に応じた生活支援技術Ⅰ ・ 肢体不自由に応じた介護 ・ 視覚障害に応じた介護 ・ 聴覚・言語障害に応じた介護 ・ 重複障害<盲ろう>に応じた介護	・ 各障害について、医学的・心理学的側面から学ぶ。 ・ 各障害のある人の生活上の困りごとについて学ぶ。 ・ 各障害のある人への支援において、他職種連携のなかで介護福祉士が果たすべき役割を理解する。
--	--

「２学期」

項 目	学 習 の ね ら い
障害に応じた生活支援技術Ⅰ ・ 【内部障害】心臓機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】呼吸器機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】腎臓機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】膀胱・直腸機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】小腸機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】HIVによる免疫機能障害に応じた介護 ・ 【内部障害】肝臓機能障害に応じた介護 ・ 重症心身障害に応じた介護	・ 各障害について、医学的・心理学的側面から学ぶ。 ・ 各障害のある人の生活上の困りごとについて学ぶ。 ・ 各障害のある人への支援において、他職種連携のなかで介護福祉士が果たすべき役割を理解する。

「３学期」

項 目	学 習 の ね ら い
障害に応じた生活支援技術Ⅱ ・ 知的障害に応じた介護 ・ 精神障害に応じた介護 ・ 高次脳機能障害に応じた介護 ・ 発達障害に応じた介護 ・ 【難病】筋萎縮性側索硬化症(ALS)に応じた介護 ・ 【難病】パーキンソン病に応じた介護 ・ 【難病】悪性関節リウマチに応じた介護 ・ 【難病】筋ジストロフィーに応じた介護	・ 各障害について、医学的・心理学的側面から学ぶ。 ・ 各障害のある人の生活上の困りごとについて学ぶ。 ・ 各障害のある人への支援において、他職種連携のなかで介護福祉士が果たすべき役割を理解する。